

今支館・分館では

『秋・恒例の親善スポーツ大会』 — 中村分館 —

平成29年度の八満地区親善スポーツ大会は、11月5日(日)の暖かな青空の秋日和に東小学校で開催されました。

乗瀬、原村、中村、八代、西八満、藤塚の6分館の参加選手、応援、児童も含め総勢200名超の賑わいでした。

種目は、ソフトボールと女子のソフトバレーボール。

開会式は、校庭で午前8時45分、当番区の中村分館の早出主事の進行で始まりました。中村分館長と来賓の北大井地区竹内支館長の挨拶。続いて前年度優勝チーム(2種目共)の中村区選手代表、美斉津ご夫妻のトロフィー・カップ返還。矢島審判長によるルール説明。そして再びご夫妻で息の合った選手宣誓。

試合開始は、午前9時。ソフトバレーボールは体育館のコート2つで行われ、選手の

皆さんの試合シフトで審判も務め、リーグ戦は順調に進行し終了。熱戦に混沌としていた会場は、試合終了後の表彰式では静粛に整列し見事な変転でした。優勝は、連覇の中村、準優勝は原村、3位は乗瀬で午前中に終了しました。



ソフトボールは、桜の黄葉が美しい校庭で行われ、時々落ち葉が砂塵と共に渦を巻き試合を盛り上げました。優勝は、打撃戦を制した西八満、準優勝は八代、3位中村。

閉会式では来年度当番区の八代分館高橋館長が、選手の皆さんへ健闘を労う挨拶があり、伝統ある親善スポーツ大会は、午後まもなく参加者の笑顔のうちに終了しました。
中村分館長 小山 誠治



『十日夜のわら鉄砲』 — 東雲分館 —

東雲区「十日夜のわら鉄砲」に参加してきました。

「十日夜のわら鉄砲」は1400年程前、飛鳥時代からの風習で、わら鉄砲で地面を叩いて歩くことで、モグラやネズミなどの害虫を追ひ払い、おいしい作物の収穫を神様に



感謝する行事だそうです。子どもたちが集まる前から大人たちは準備で大忙し。わら鉄砲作りに使うわらをすいたり、縄を一定の長さに切ったりしていました。

時間になると区内放送が流れ、子どもたちが集まったところで、わら鉄砲作りの始まりです。まず、わらとみょうがを束にします。次に縄の端を折って輪を作り、わらとみょうがの束と縄を合わせて巻いていきます。そして、最初に作った輪に縄の端を通し、強く引っ張ります。すると、縄が縮まり、太くてしっかりしたわら鉄砲が完成しました。うまく縄が巻けずに苦労している子もいましたが、年長者が丁寧に教えてみんながわら鉄砲を作ることができました。



「十日夜(とおかんや)のわら鉄砲 夕飯食って ぶったたけ!」の掛け声のあと、作ったわら鉄砲で地面を「バシン!」と力いっぱい叩きます。中には力いっぱい叩きすぎてわら鉄砲がボロボロになってしまった子も。町内の広場ではみんなで輪になって行い元気な声が町内に響き渡りました。

公民館に帰ってきたら、大人たちが窯焼きピザを用意してくれていました。焼きたてのおいしいピザをみんなでおぼり、東雲の子どもたちも心も体も元気いっぱいです。

この風習を今も行っている地区は市内では2区程度しかないそうです。世代間交流もでき、この先もずっと大切にしたい行事だと感じました。これでも来年も東雲区の畑は豊作ですね。

編集委員 木内 那穂